

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	運動専用スペースとしてプレイングルームを利用している。 各フロアを目的に応じて使い分け、定員に対して適正なスペースでサービスを提供している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	適切である。 各フロアに必要な職員を配置し、メインコーチと補助のスタッフと役割も分けて活動時に対応が出来る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	施設内、敷地内においてスロープや手すりを設け、1階やプレイングルームに関しては段差がないように配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0	朝礼・終礼・スタッフミーティング等で情報の共有を全職員で行っている。 その中で目標に対する振り返りやアプローチの仕方について話し合い、常に最善を考えて活動している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	毎年、保護者様向け評価表を実施し、その都度内容をチェックし、改善点や新しいニーズを取り入れている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6	ハッピーテラス本部の講師による研修兼査察を受け、改善点、アドバイスを頂き業務改善に取り組んでいる。 今後第三者による外部評価を行っていききたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	毎月、事業所ミーティング内においても障害福祉や人格向上の勉強会を実施している。 岐阜市や岐阜県が発信しているオンライン研修含め、外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提...	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	定期的にあセスメントシートの記入を保護者の方へお願いし、成長と共に変化する課題を保護者様と共有させて頂き、その時々に必要なサポートと課題へのアプローチ方法を支援計画に盛り込んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	子どもの状況が分かるように項目を細かく設定したアセスメントツールを用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	テーマと内容に沿って、子どもたちのレベルに合わせた課題とゴール設定を行い、必要な支援を毎回打ち合わせしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	曜日によって内容は決まっているが、行う内容が毎回同じにならないように工夫している。 土曜日や長期休暇のイベントやお出かけ先に関しても、新規開拓をするように日々情報収集に勤めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	食事のマナーや季節変化に伴う体調管理の仕方、衣服を含めた衛生管理等、平日とは異なる箇所を長期休暇の中の課題として盛り込むようにしている。

供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	子ども一人ひとりの特性や得意・不得意に合わせて課題を設定し、集団活動と個別活動の両方をバランスよく計画し実行している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	毎朝、朝礼後に打ち合わせの時間を設け、支援のねらいとアプローチに関して話し合いをしている。内容によっては加配スタッフとして個別に配置する等、役割に関しても確認し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	終礼時に、その日に気になった子どもたちの様子と連絡事項を共有している。トレーニング時の反省点は次の日の打ち合わせ内で話し、次の支援に活かすようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	記入するスタッフを固定せず、子ども一人ひとりの毎日の記録を様々な視点から記入するよう努め、よりよい支援に繋げている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	保護者様との面談に加え、送迎時に学校の先生に教室内での様子をヒアリングしたり、相談支援員との情報共有も行い、成長と課題を共通認識した上で見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9	0	SSTを主とした自立活動、絵画・習字といった創作活動、地域の祭りに参加する等地域交流、余暇の趣味にも繋がるお菓子作りやボウリングなど4つの基本活動それぞれ行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4	現段階で実施できていないが、サービス担当者会議の実施を計画しており、現在参加者の予定を調整中である。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	0	送迎時間やお迎え場所の共有を行っている。送迎時に先生から教室内での様子を伺ったり、事業所内での様子をお伝えすることで、双方に情報共有を行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2	現在、医療的ケアを必要とする子を預かっていない。医療的ケアではないが、それぞれの持病や服薬等の情報に関しては保護者様を通じてお聞きしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	利用していた保育園・幼稚園との情報共有はできていないが、児童発達支援事業所とは連携を取り、情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	マルエイソーシャルサポートと、支援に関する情報を密に提供している。また、ソーシャルサポートでの様子も定期的に伺ったり、実際にスタッフが足を運ぶことで継続的な関わりをもっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	障がい者支援センターが提供する専門的な研修は、実践の場に役立つ内容が多いことから積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	放課後児童クラブとの関わりは持っていないが、児童館やドリームシアター等の障がいのない子も利用する場所へお出かけし、一緒に交えて遊ぶ機会を提供している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	9	地域自立支援協議会が近辺で開催されていないため、参加できていないが今後機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	連絡帳にて必ず子どもの様子を伝え、送迎時や親子イベント等で直接顔を合わせる場面では、連絡帳の中では伝えきれない近況をより詳しくお伝えしています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	1	研修で得た知識等を助言している。 今年度、岐阜県発達障害者支援センターが主催するペアレント・トレーニング指導者養成研修を受講し、今後ペアレント・トレーニングも実際に行っていければと検討している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	契約時に運営規定、支援内容、利用者負担等についてそれぞれ書面と口頭で説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	傾聴の姿勢を大切に、慎重に助言を行っている。 必要であれば第三者機関を紹介する等、適切に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	保護者会の発足をを行い、定期的を開催している。 その際、保護者様同士の交流の場をに対して好評を得ることができ、今後も継続して行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	苦情があった際には直ちに管理者に報告する体制を整備している。そして、迅速な対応を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	毎月の活動予定表を利用予定申込書と同時に配布し、活動と行事の予定をお知らせしている。 ハッピーテラス通信も発行し、日々の活動やイベント等の様子をお伝えしたり、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	個人情報の取り扱いには注意を払っており、鍵付きの書庫での保管を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	特性を理解した上で、理解しやすいような話し方・伝え方を心がけ、視覚的フォローも入れるなど工夫と配慮をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	グループ会社と共に地元地域の夏祭りを開催した。 活動内容によっては招待するかどうか職員で話し合い、開かれた事業所運営を図っている。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	必ず半年に一度、活動内容に組み入れて、実際にどのような状況になるのかを想定し、地域の消防署とも連携を図りながら具体的な訓練を行っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	虐待防止委員会を設置し、年に2回虐待防止の研修を行い、職員の意識向上に努めている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	安全配慮の場面における手を繋ぐといった行動に関しては、保護者様にも説明をして同意を得た上で支援計画にも記載し、支援している。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	アセスメントや緊急連絡表などで毎年、アレルギーの有無等のお子様の状況を確認している。アナフィラキシーショックの危険性も研修で学び、お子様に対して適切な対応を心がけている。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	事象が起こった際には、朝礼・終礼にて口頭での情報共有を行い、事例集に記入して記録としても残している。